

学校教育目標

自ら学び考え
主体的に行動する
心豊かな生徒

目指す生徒像

胸をはり
瞳輝く東中生

学校だより 瞳輝



第13号 令和4年3月3日 川越市立東中学校長 福田和子

「教育が一人前の社会人をつくる」家庭や地域の願いに応える 「守・破・離」の東中三カ年教育

3月学校朝会の校長講話 等

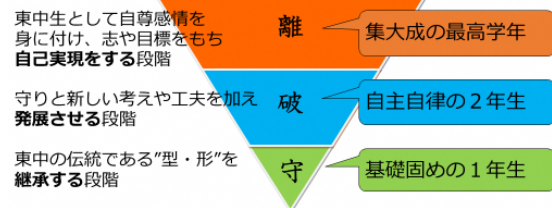
3月に入り、今年度も残り一ヶ月となりました。この期間を次のステップに向けた大切な時間とできるよう過ごしていきましょう。

さて、「有終の美を飾る」「立つ鳥あとを濁さず」など、日本では様々な言い方で、残りの日々をどのように過ごしていくとよいか、どのように締めくくるとよいかを考える「ことば」がいく

つもあります。以前「締めくくる」ことについて話をしましたが、「最後に全体のまとまりをつけたり、活動を振り返って総括したりすること」と説明しました。これもこのあとの一ヶ月の過ごし方に大きく関わっています。

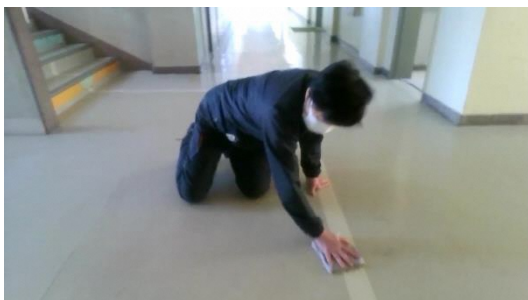
そこで3月の学校朝会では、動画を使って「ほうきの使い方」「水ぶきの仕方」「雑巾のすすぎ方」について説明しました。開校から61年目を終えようとしている東中学校の校舎は、あちらこちらが古い印象となっています。しかし、全校生徒、教職員が毎日の清掃の時間を効果的に使い、古くなった校舎をていねいに清掃して清潔に保つことで気持ちよく学校生活を送ることができます。自分たちが使っている校舎に感謝の気持ちをもって清掃を行うことはとても大切なことです。また、3年生には、卒業を目前に控え、3年間過ごした母校に対して感謝の気持ちをもって清掃できるよう話しました。

「教育が一人前の社会人をつくる」 家庭や地域の願いに応える 「守・破・離」の東中三カ年教育



ほうきの使い方

- 1 ごみを巻き上げないようにていねいに掃く
- 2 掃きおわりは、ほうきの穂先を止めるとごみが巻き上がらない
- 3 隅を掃くときには、ほうきの穂先の向きを変えて掃くと掃きやすくごみがよくとれる
*ほうきで掃き終わるまでの間、水ぶきの人は窓のわくや、レールの縁などを拭いて待つ



水ぶきの仕方

- 1 雑巾を半分に折り、手のひら全体で力を入れ、すき間がないようにずらしながら拭く
- 2 雑巾の面を変えながら拭くとよい
*雑巾をすすぐときは、バケツの中で雑巾全体をもみ洗する

皆さんは、学校生活の中で多くのことを学び、体験する中で自分の考えをまとめ、主体的に行動するための知識を身に付けたり、知恵を働かせたりすることができるようになっていきます。ぜひ、どのように行動するとよいか一人一人が考える機会としてください。